

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部における新分野「循環器内科学分野」の設置について

1. 設置する部門 再生修復医歯学部門
2. 設置する講座 器官病態修復医学講座
3. 新設する分野 循環器内科学分野（医学系）
4. 設置理由

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部臓器病態治療医学分野（医学系）を「消化器系」と「循環器系」の2つの専門分野に細分化し、より高度で専門的な教育・研究が実施できる体制を整える。現存の臓器病態治療医学分野の教授選考は、消化器内科系を対象に公募し選考を進めている。一方、5月10日の教授会にて循環器内科学分野設置にかかる規則改正を承認し、教授選考を開始することとした。

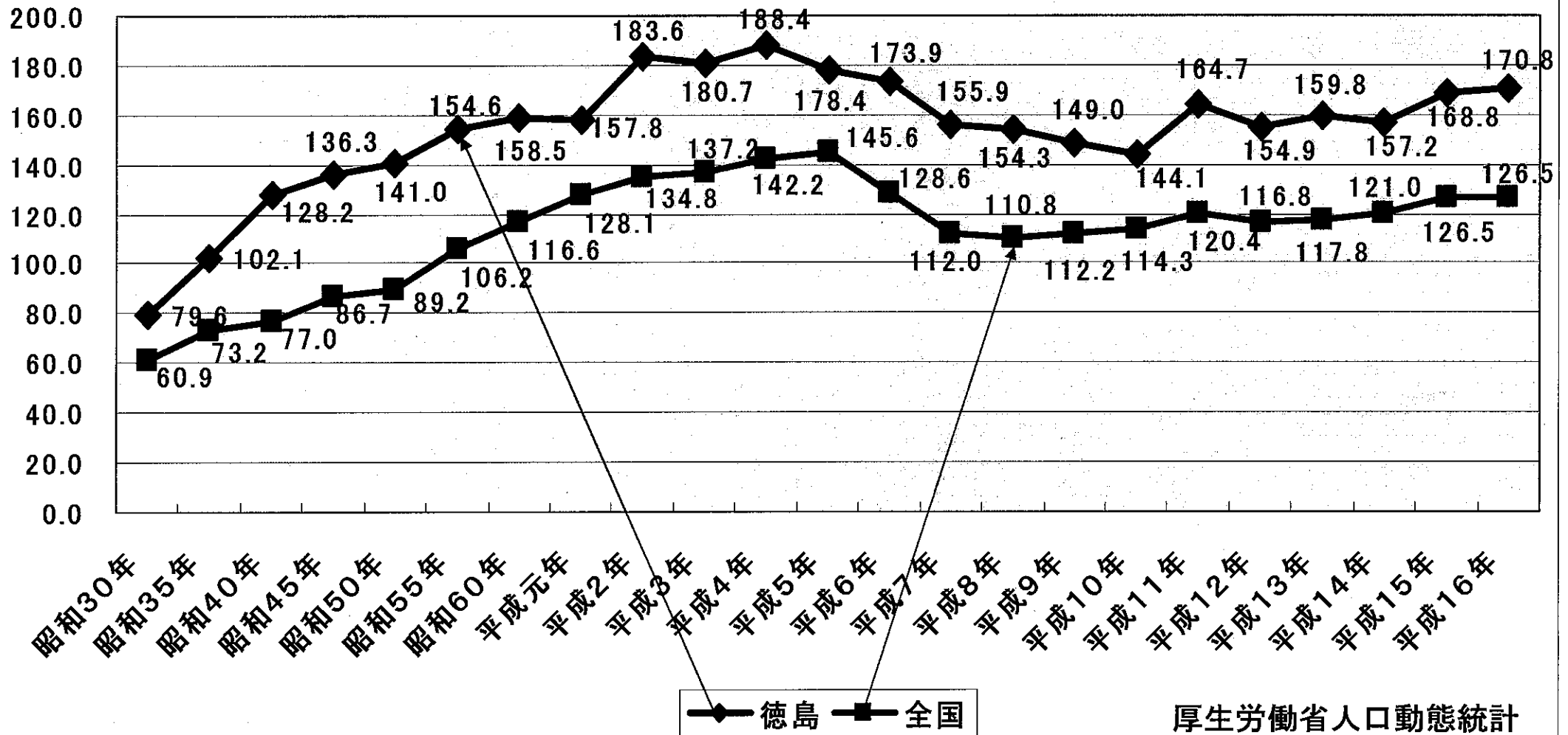
徳島県内の心疾患（高血圧性除く）の死亡率は過去50年間にわたり全国平均より25%くらい高いことが統計的に示されている。大学病院の「循環器内科」には、毎日約50人の外来患者と約24人の入院患者があり、高血圧症、虚血性心疾患などの循環器疾患は社会的なニーズが強く、診療科としての貢献度も極めて高い。循環器内科の特性として迅速な診断と緊急な治療を必要とする症例が多いためスタッフの確保、充実が求められており、循環器内科学分野の設置により専門医の養成が重要な課題となっている。

現在、42国立大学医学部の内、循環器内科学分野がない大学は5大学となっており、循環器内科学の重要性と社会的ニーズ、さらに将来的な発展性から、ヘルスバイオサイエンス研究部内に循環器内科学分野を新設することとなった。当該分野の設置により、優秀な教員を公募にて採用配置し、医学部教育、大学院教育（学位授与）と研究推進、研修医指導、専門医の育成により一層先進的で高度な医療の開発に取り組む医師・研究者の育成がはかれること。さらに、高齢化社会に伴う循環器系疾患患者数の増加があり、循環器内科診療を通して地域社会への貢献が期待出来る。

5. 設置時期 平成19年6月1日
6. 構成員 教授 1
准教授・講師 2
助教 3

徳島での心疾患死亡率は全国平均より高く推移！

主要死因による死亡率(人口10万対)
 -心疾患(高血圧性除く) 徳島県 全国-



厚生労働省人口動態統計

循環器内科で診療する主な疾患

- ・胸痛, 動悸, 息切れ, 浮腫を主訴とする初診患者
- ・狭心症・心筋梗塞
- ・心筋症
- ・弁膜症
- ・不整脈
- ・心不全
- ・高血圧
- ・術前心機能評価

- ・頻度の高いcommon diseaseが多い
- ・胸部症状がある場合, 他の疾患であっても最初は循環器内科を初診することが多い
- ・大学病院では難易度の高い手術を行うことが多いため, 術前評価, 周術期循環管理を他科から依頼されることが非常に多い

循環器内科診療の特徴

- ・対象患者数が多く、高齢化に伴いさらに増加している。
- ・在院期間が短く、入院患者の入れ替わりが早い。
- ・救急疾患が多く、待機当番医師の24時間体制が必要
- ・外科術前患者を中心に他科からの診療要請が多い。
- ・検査および治療手技が多い。
- ・検査・治療手技に多くの人数と時間が必要。

全国的に、内科・外科診療は、臓器疾患 別対応へと展開 — 社会のニーズ

臨床系講座(分野)に「循環器内科」を設置していない旧
国立系大学医学部・医科大学は、42大学中5大学！

福井大学

徳島大学

鳥取大学

宮崎大学

広島大学